

Merge Flight Ops

ユーザー向けサービス仕様書

飛行計画・DIPS 通報・飛行日誌・点検整備を一元管理

運航前確認 DIPS2.0 連携 航空局様式 1～3 気象・上空風 契約・請求

Version 1.7 | 2026 年 8 月 16 日

マージパートナーズ行政書士事務所

本版の位置付け

2026 年 8 月 9 日版（Version 1.6）を基礎に、8 月 16 日までに確定した組織内ユーザー管理方式、全プランの期限メール通知、月間上限のリセットルール、ユーザー管理者と MFO 運営管理者の責任区分、資料管理の表現およびインシデント資料追加の仕様を反映した更新版です。

本書について

本書は、Merge Flight Ops（以下「MFO」）の主な機能、料金プラン、利用上限、DIPS2.0 連携、契約・請求、サポート、他サービス・既存管理環境からの移行支援、契約終了後の取扱いなどを、利用者向けに説明するサービス仕様書です。

サービスの位置付け

MFO は、ドローン事業者の飛行計画、運航前確認、DIPS2.0 への飛行計画通報、飛行日誌、点検整備、期限、インシデント、案件および資料を組織単位で一元管理する、ドローン運航管理・記録整備支援クラウドです。

項目	内容
文書名	Merge Flight Ops ユーザー向けサービス仕様書
対象サービス	Merge Flight Ops（MFO）
提供者	マージパートナーズ行政書士事務所
基準日	2026 年 8 月 16 日
版	Version 1.7
適用範囲	標準提供機能、料金プラン、契約・請求および主要外部連携
関連文書	利用規約、プライバシーポリシー、申込画面・契約画面に表示される条件、サービス運用・セキュリティ仕様書

今回の主な改定

- Standard 以上の組織内ユーザー追加を、招待方式ではなくユーザー管理者によるアカウント発行・対象ユーザーへの連絡方式として明確化
- 期限メール通知を全プランで利用可能とする仕様に統一
- DIPS 成功書込み・行政書士簡易相談等の月間上限を毎月 1 日にリセットするルールを明記
- 契約組織側の「ユーザー管理者」と当事務所側の「MFO 運営管理者」を区別し、Enterprise 等の運用主体を明確化
- Standard 以上の資料管理を、同一組織に登録された複数ユーザーによる資料共有・権限管理として表現を修正
- インシデント登録時および登録後に関連資料を追加できることを明記

目次

章	内容
1	サービス概要
2	利用開始から記録作成までの流れ
3	機能仕様
4	料金プラン
5	プラン別機能
6	利用上限とカウント方法
7	無料トライアル
8	行政書士相談・見積依頼・サポート
9	契約・請求・利用状態
10	データの取扱い
11	外部サービス連携と制約
12	重要事項・用語

1. サービス概要

1.1 MFO でできること

MFO は、飛行前の計画・確認から、DIPS2.0 への新規・訂正通報、飛行後の実績・点検記録、航空局様式の出力までを一つの流れで管理します。

- 案件、飛行計画、飛行日誌を関連付けて管理
- 出発地・複数の経由地・目的地・飛行範囲を地図上で設定
- **DID、国土交通省告示第 435 号に基づく工業専用地域内の指定区域、空港周辺等、禁止空域、周辺飛行計画、地上ハザード候補を確認**
- 気象、上空風、日の出・日の入りを確認
- DIPS2.0 から機体・許可承認情報を取得し、飛行計画を新規通報・訂正通報
- 飛行前点検・飛行後点検、点検整備、不具合・是正処置を記録
- 国土交通省航空局「無人航空機の飛行日誌の取扱要領」の様式 1～3 を出力
- 期限、資料、インシデント、変更履歴を組織単位で管理
- 案件・飛行計画・飛行日誌・インシデントから行政書士相談・見積依頼へ連携
- 契約プラン、利用量、支払方法、請求状況を契約・請求画面で確認

1.2 想定する利用者

- 個人でドローンを運航する操縦者・フリーランス
- 撮影、測量、点検、建設、設備保守等のドローン事業者
- 複数の機体・操縦者・運航担当者を管理する組織
- 運航記録、点検記録、証跡および監査対応を整備したい事業者

1.3 管理単位

契約、ユーザー、機体、操縦者、案件、飛行計画、飛行日誌、資料および利用上限は、原則として組織単位で管理します。1人で利用するプランでも、利用者本人の組織として扱います。

1.4 サービス上の表現

重要

MFO は、DIPS への通報、飛行日誌等の記録作成および運航前確認を支援するサービスです。本サービスの表示や判定のみで、個別の飛行の適法性または安全性を保証するものではありません。

2. 利用開始から記録作成までの流れ

手順	操作	内容
1	利用開始	初回利用者はメールアドレス確認後に利用登録し、無料トライアルまたは有料プランを開始します。
2	DIPS 連携	DIPS2.0 へ認証し、機体情報・許可承認情報を取得します。
3	管理対象を選択	DIPS から取得した機体、および MFO に登録した操縦者のうち、MFO で運用する対象を有効化します。
4	案件・飛行計画作成	飛行目的、日時、場所、機体、操縦者、許可承認、保険等を設定します。
5	運航前確認	空域、国土交通省告示第 435 号に基づく工業専用地域内の指定区域、周辺計画、地上ハザード、気象、日の出・日の入り等を確認します。
6	DIPS 通報	通報前チェックを行い新規通報します。通報後に計画を変更した場合は訂正通報を行います。
7	飛行・点検	飛行前点検を実施し、飛行後に実績・飛行後点検を記録します。
8	日誌・帳票	飛行日誌、点検整備記録、様式 1～3、PDF 等を出力・保管します。

3. 機能仕様

3.1 アカウント・ダッシュボード

- ・初回契約者のメールアドレス確認方式による利用登録
- ・ログイン、パスワード再設定、マイページ
- ・組織・契約状態、利用量、期限、直近の飛行計画等をダッシュボードで確認
- ・ロールに応じたメニュー・操作権限の制御

3.2 案件管理

- 顧客・業務単位の案件を登録
- 案件名、飛行目的、期間、担当者等を管理
- 案件から飛行計画・飛行日誌・資料・問い合わせへ連携
- 案件情報を飛行計画へ引き継ぎ、重複入力を軽減

3.3 機体・操縦者・許可承認・保険

- DIPS2.0 から機体情報を取得
- DIPS2.0 から許可承認情報を取得
- MFO で管理対象とする機体・操縦者を選択
- 機体の点検周期、総飛行時間、点検整備履歴を管理
- 操縦者の一等・二等無人航空機操縦者技能証明、期限等を管理
- 保険、許可承認等を飛行計画で参照
- 機体・許可承認等に複数の関連資料を登録

プラン上限の考え方

DIPS から取得できる機体数そのものは制限しません。プラン上限は、MFO で「管理対象」として有効化し、新規飛行計画へ割り当てられる件数に適用します。

3.4 飛行計画・地図

- 飛行日時、飛行目的、案件、機体、操縦者、保険、許可承認を設定
- 出発地、複数の経由地、目的地を地図上で設定
- 円、矩形、ポリゴン等で飛行範囲を設定
- KML の入出力
- 飛行計画 PDF の出力
- 飛行計画の複製・再利用
- 通報前の入力チェック

3.5 空域・地上リスク確認

- 人口集中地区（DID）の地図表示
- **国土交通省告示第 435 号に基づく工業専用地域内の指定区域を地図表示**
- 空港等の周辺空域の表示
- DIPS2.0 の禁止空域情報の取得
- DIPS2.0 の周辺飛行計画の取得
- 小型無人機等飛行禁止法に関する区域の表示
- 出発地・経由地・目的地・飛行経路・飛行範囲の地上ハザード候補調査

確認上の注意

地図および自動判定は運航前確認を支援する参考情報です。国土交通省告示第 435 号で指定された都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号の工業専用地域内の区域は、「人又は家屋の密集している地域」から除かれるため、当該区域では DID を理由とする飛行許可は不要です。夜間、目視外、人又は物件から 30m 未満等の条件は別途確認してください。

3.6 気象情報

- 飛行地点・経路周辺の気象予報表示
- 飛行計画の経路と気象分布を地図上で重ね合わせて表示
- 風向・風速の空間分布を流線、矢印および数値で表示
- 1時間単位で予報時刻を切り替え
- 高度を選択して上空の風向・風速を確認
- 気温、降水、雲量、日照等の関連気象項目
- 利用する予報モデル、予報対象期間および最終更新時刻を表示
- 日の出・日の入り時刻

気象データソース

標準では Open-Meteo 経由の JMA MSM を利用します。提供環境の設定により、WNI 統合メッシュ API を利用・選択できる場合があります。データソースや表示可否は契約・提供環境により異なる場合があります。

気象情報の性質

気象情報は外部データを利用する予報情報であり、現地観測や最新の気象警報・注意報に代わるものではありません。

3.7 DIPS2.0 連携

- DIPS2.0 への認証
- 機体情報・許可承認情報の取得
- 禁止空域情報・周辺飛行計画の取得
- 飛行計画の新規通報
- 通報済み飛行計画の訂正通報
- 前回の正常送信内容と現在の飛行計画を比較し、訂正通報が必要な状態を表示
- DIPS 受付結果、送信履歴、エラー内容の保存
- 正常受付後の「DIPS 通知済」および同期状態の管理
- 入力修正後の再送

DIPS 側の無効化について

MFO は飛行計画の新規通報および訂正通報に対応します。MFO から DIPS 側の飛行計画を無効化・取消・削除することはできません。MFO 内の記録無効化では DIPS 側の飛行計画は変更されません。

3.8 飛行日誌

- 飛行計画から飛行日誌を作成
- 1つの飛行計画に複数の飛行実績を記録
- 離陸地、着陸地、経由地、飛行時間、飛行概要を記録
- 主たる操縦者および複数操縦者を記録
- 機体ごとの総飛行時間を集計

- 不具合、是正処置、訂正、無効化の履歴を保持

3.9 飛行前後点検・点検整備

- 飛行前点検・飛行後点検を記録
- 日常点検項目を正常・異常・対象外・未実施等で記録
- 点検実施者を既存操縦者から選択、または必要に応じて入力して記録
- 点検実施日時、所見を記録
- 定期点検、修理、改造、部品交換、ファームウェア変更等を記録
- 機体ごとの点検周期・次回点検を管理
- 関連資料や証跡を記録に紐付け

3.10 航空局様式 1～3

様式	MFO での主な出力内容
様式 1	飛行記録：日時、場所、機体、操縦者、飛行概要、飛行時間等
様式 2	日常点検記録：飛行前後点検、点検項目、判定、実施者等
様式 3	点検整備記録：定期点検、修理、改造、交換、整備内容等

- 機体単位・期間単位で出力
- 案件・飛行日誌等で絞り込み
- 機体ごとの時系列記録として出力

「対応」は様式に沿った記録作成・出力を支援することを意味し、国土交通省による公認・認定を意味しません。

3.11 期限管理・通知

- 機体登録、許可承認、保険、操縦者資格、点検整備、案件期限、飛行予定等を統合期限画面で確認
- 期限が近い項目を一覧表示
- 全プランで期限メール通知を利用可能
- 通知対象・通知タイミングはユーザー設定および運用設定に基づく

3.12 資料管理

- 案件、飛行計画、飛行日誌、機体、許可承認、インシデント等に関連する資料を管理
- 同一の機体や記録へ複数の資料を登録
- 資料名、種別、関連対象、ファイル、登録日時等を記録
- **権限に応じた閲覧・編集・ダウンロード**
- Trial／Personal は、個別の案件・飛行計画・飛行日誌・機体・許可承認・インシデント等に紐づく資料の登録・閲覧・ダウンロードを中心とする基本利用に限定します。
- Standard 以上は、同一組織に登録された複数ユーザーによる資料共有・権限管理を含む資料管理を利用できます。資料の保存容量・ファイル件数等に個別の上限を設ける場合は、契約画面またはサービス内で案内します。

3.13 インシデント・是正・監査

- 事故・不具合・ヒヤリハット等のインシデントを起票
- 事象、原因、影響、初動対応、是正処置を記録
- 案件、飛行計画、飛行日誌、機体を紐付け、インシデント登録時および登録後に関連資料を追加

- インシデント詳細から関連情報を引き継いで行政書士相談・見積依頼へ連携
- Business 以上では承認・是正フローを利用可能
- Business 以上では詳細な変更履歴・監査履歴を利用可能

3.14 組織・ユーザー管理

- 組織単位で契約・データ・利用上限を管理
- owner、manager、member 等の権限を設定
- Standard 以上では、ユーザー管理者が組織内の利用ユーザーを登録してアカウントを発行し、対象ユーザーへログインに必要な情報を連絡（MFO からのメンバー招待機能はありません）
- Business 以上で承認・監査を含む組織運用に対応
- 本書では、契約組織側の管理権限を持つ利用者を「ユーザー管理者」、当事務所側の運営権限を持つ管理者を「MFO 運営管理者」と表記

3.15 他サービス・既存管理環境からの移行支援

MFO では、他社のドローン運航管理サービス、Excel・CSV 等で管理している既存情報からの移行について、個別にご相談いただけます。

- 機体情報
- 操縦者情報
- 保険情報
- 許可・承認情報
- 飛行計画
- 飛行実績・飛行日誌
- その他、MFO で管理可能なマスタ情報

データ形式・件数・移行元サービス等を確認した上で、移行方法をご案内します。データの加工・一括登録等が必要な場合は、内容に応じて個別対応・個別見積となります。

DIPS2.0 から取得可能な機体・許可承認情報は、MFO 側で再取得することで旧サービスからの移行対象を限定できる場合があります。

移行支援の対象外

- 移行元サービス側でエクスポート手段が提供されていないデータの直接取得、移行元サービスのアカウント操作・解約手続
- MFO に対応項目がない独自データ、独自画面、独自ワークフロー等の完全な再現
- 破損・欠損・重複・不整合がある元データの完全な修復、または元データに存在しない情報の補完
- 利用者が移行・提供する権限を有しないデータ、第三者との契約等により移行が制限されているデータ

責任分界

- 利用者は、移行対象データを適法かつ正当な権限に基づき提供し、移行前の原本・バックアップを保持するものとします。
- 当事務所は、合意した移行範囲に基づきデータの変換・登録および合理的な範囲の確認を行います。移行元サービスの全項目・履歴・表示状態の完全な再現を保証するものではありません。
- 移行後の件数・内容・関連付け等の最終確認は利用者に実施いただきます。移行元サービスの解約・データ削除等は利用者の責任で行ってください。
- 個別の移行対象、作業範囲、費用、実施方法は事前に確認し、必要に応じて個別見積で定めます。

4. 料金プラン

料金は税込です。年額料金は、月額料金×12 から 10%割引し、割引後の 1 円単位を切り捨てて 10 円単位とします。
Enterprise は個別見積・手動契約です。

プラン	月額	年額	主な対象
無料トライアル	0 円・30 日間	-	MFO を試用したい方
Personal	980 円	10,580 円	個人、フリーランス、小規模運航者
Standard	4,980 円	53,780 円	少人数の事業者・チーム
Business	9,800 円	105,840 円	複数ユーザーで運航する事業者
Enterprise	個別見積	個別見積	高頻度運航、大規模組織、複数部門

料金表示について

申込時点の料金・支払条件は契約画面に表示される内容を確認してください。料金改定がある場合は、適用時期と対象を別途案内します。

他サービス・既存管理環境からのデータ移行支援は、標準プラン料金とは別に、内容に応じて個別見積となる場合があります。

4.1 プラン別利用上限

項目	Trial	Personal	Standard	Business	Enterprise
利用期間	30 日	契約中	契約中	契約中	個別
有効ユーザー	1 名	1 名	3 名	10 名	個別
有効機体	3 機	3 機	10 機	50 機	個別
有効操縦者	3 名	3 名	10 名	50 名	個別
DIPS 成功書込み	3 件/期間	10 件/月	50 件/月	300 件/月	個別
行政書士簡易相談	なし	なし	月 1 件	月 3 件	個別
組織内ユーザー追加	不可	不可	可	可	可

4.2 各プランの特徴

Personal 月額 980 円

個人のドローン運航に必要な飛行計画、DIPS 新規・訂正通報、飛行日誌、点検記録、航空局様式 1~3 をまとめて管理できます。1 ユーザー／機体・操縦者各 3 件／DIPS 成功書込み月 10 件。期限メール通知を利用できます。行政書士簡易相談は対象外です。

Standard 月額 4,980 円

少人数の事業者向け。3 ユーザー、機体・操縦者各 10 件、DIPS 成功書込み月 50 件、期限メール通知、資料管理、行政書士簡易相談月 1 件に対応します。

Business 月額 9,800 円

組織的なドローン運航向け。10 ユーザー、機体・操縦者各 50 件、DIPS 成功書込み月 300 件、インシデント承認、是正処置、詳細監査履歴、行政書士簡易相談月 3 件、優先サポートに対応します。

Enterprise 個別見積

高頻度運航、複数部門、個別の利用上限、運航管理体制整備、継続的なサポートおよび行政書士支援に対応します。契約条件・料金・利用上限は個別に設定し、MFO 上では MFO 運営管理者が手動で契約状態を管理します。

5. プラン別機能

機能	Trial	Personal	Standard	Business	Enterprise
案件・飛行計画	○	○	○	○	○
地図・空域・地上ハザード	○	○	○	○	○
告示第 435 号指定区域表示	○	○	○	○	○
気象・日の出入	○	○	○	○	○
DIPS 機体・許可承認取得	○	○	○	○	○
禁止空域・周辺計画取得	○	○	○	○	○
DIPS 新規・訂正通報	3 件/期間	10 件/月	50 件/月	300 件/月	個別
飛行計画 PDF	○	○	○	○	○
飛行日誌・前後点検	○	○	○	○	○
点検整備記録	○	○	○	○	○
様式 1~3 出力	○	○	○	○	○
日誌の訂正・無効化履歴	○	○	○	○	○
基本期限画面	○	○	○	○	○
期限メール通知	○	○	○	○	○
資料管理	基本利用	基本利用	○	○	○
インシデント起票	○	○	○	○	○
承認・是正フロー	-	-	-	○	○
詳細監査履歴	-	-	-	○	○
優先サポート	-	-	-	○（優先受付）	個別
記録に紐づく行政書士簡易相談	-	-	月 1 件	月 3 件	個別
行政書士業務の見積依頼	○	○	○	○	○
MFO 操作・不具合問い合わせ	○	○	○	○	○

6. 利用上限とカウント方法

6.1 DIPS 成功書込み件数

DIPS2.0 が正常に受け付けた書込み処理を、利用件数としてカウントします。

カウント対象	カウント対象外
新規飛行計画通報	入力バリデーションエラー
訂正通報	DIPS 認証エラー
DIPS が正常受付した再送	通信障害、MFO 側・DIPS 側の処理失敗

同じ飛行計画でも、新規通報とその後の訂正通報がそれぞれ正常受付された場合は、それぞれ1件としてカウントします。

6.2 月間上限

有料プランのDIPS成功書込み等の月間上限は、毎月1日にリセットします。上限到達後は、DIPS書込み等の上限対象機能を利用できません。参照・記録・出力など、上限対象外の機能は契約状態に応じて利用できます。

6.3 機体・操縦者・ユーザー上限

機体・操縦者の上限は登録総数ではなく、原則として「有効」「管理対象」として新規運航に利用できる件数に適用します。上限を超えるデータは参照できても、新規飛行計画への割当て等ができない場合があります。ユーザー上限は、組織内で有効な利用ユーザー数に適用します。

6.4 行政書士簡易相談

Standardは月1件、Businessは月3件を標準とします。Enterpriseは個別対応とします。相談件数は、MFO内の「行政書士簡易相談」として受け付けた案件を対象にカウントし、月間件数は毎月1日にリセットします。

7. 無料トライアル

- 利用期間は30日間
- クレジットカード登録なしで開始可能
- 有効機体3機、有効操縦者3名、1ユーザー
- DIPS成功書込みはトライアル期間中3件まで
- 行政書士簡易相談は対象外
- 期限メール通知を利用可能
- トライアル終了後は有料プランへの契約が必要

トライアル終了時

有料プランを開始しない場合、利用状態が制限されることがあります。過去データの閲覧・出力、保持期間、削除等は契約状態および利用規約に従います。

8. 行政書士相談・見積依頼・サポート

8.1 問い合わせの区分

区分	内容	プラン
行政書士簡易相談	案件・飛行計画・飛行日誌・インシデント等に紐づけ、法令・手続・運用について相談	Standard 以上（上限あり）
行政書士業務の見積依頼	許可承認、個別案件、運航体制整備等の正式業務について見積依頼	全プラン

区分	内容	プラン
MFO 操作・不具合問い合わせ	画面操作、不具合、契約・請求等のサービスサポート	全プラン

8.2 記録からの相談連携

- ・案件・飛行計画・飛行日誌から対象情報を引き継いで相談
- ・インシデント詳細から、事故・不具合・是正内容等を引き継いで相談・見積依頼
- ・関連 ID や対象記録を保持し、やり取り時の確認負荷を軽減

8.3 優先サポート

Business の MFO 操作・不具合・契約・請求に関する問い合わせは、通常サポートより優先順位を上げて受付・調査します。

優先サポートは初回回答時間または解決時間を保証する SLA ではありません。障害内容、外部サービスの状況、問い合わせ内容等により回答・解決までの時間は異なります。

Enterprise のサポート範囲、連絡方法、対応優先度等は個別契約で定めます。行政書士簡易相談・行政書士業務の見積依頼は、MFO の優先サポートとは別に取り扱います。

行政書士相談の扱い

MFO の一般サポートと行政書士業務は区別されます。個別具体的な許認可手続に関する相談、官公署提出書類の作成、申請手続の代理その他行政書士が受任して行う業務は、必要に応じて別途受任・見積の対象となります。行政書士の業務範囲外または他の法律により制限される業務は対象外です。

9. 契約・請求・利用状態

9.1 支払方法

支払方法	対象	主な運用
カード／Apple Pay／Google Pay	Personal / Standard / Business	月額・年額。Stripe を利用して契約・請求を管理します。Apple Pay／Google Pay は利用可能な端末・ブラウザ・登録カード等の条件を満たす場合に表示されます。
銀行振込	Personal / Standard / Business	年額契約のみ。Stripe の請求書を利用し、入金確認後に契約状態へ反映します。
個別契約	Enterprise	個別見積・手動契約。MFO 運営管理者が MFO 上の契約条件を設定します。

9.2 カード契約

・Stripe Checkout 等の契約フローを利用

- ・利用可能な端末・ブラウザ・登録カード等の条件を満たす場合、Apple Pay または Google Pay での支払いを選択できます。
- ・Apple Pay／Google Pay の表示・利用可否は、端末・ブラウザ・カード発行会社・Stripe の提供条件等に依存します。

- 契約中のカード情報・請求情報は Stripe Customer Portal で確認・変更
- **Customer Portal は MFO から別タブで開く構成**
- 契約状態・次回更新日・利用プラン等は MFO の契約・請求画面で確認

9.3 銀行振込（年額のみ）

- 無料トライアル等から銀行振込年額を申し込む場合、Stripe 請求書を発行し、入金確認後に契約を反映
- 既にカードで当期分を支払済みの契約から銀行振込へ切り替える場合、現在の契約期間はカード契約を継続し、次回更新日から銀行振込へ切り替え
- 上記の切替予約では、申込直後に次回分の銀行振込請求書は発行されず、次回更新時に発行
- MFO 画面では「次回更新日から銀行振込へ切替予定」等、実際の適用時点が分かる表示を行う

銀行振込の請求書発行時期

「銀行振込を選択したら常に即時に請求書が出る」わけではありません。既存カード契約の支払済み期間がある場合は、次回更新日からの切替予約となります。

9.4 プラン変更・解約

プラン変更・解約の適用時点、請求額、次回更新日は契約画面に表示される条件に従います。既に支払済みの料金については、特段の定めがない限り返金しません。Enterprise は MFO 運営管理者による個別対応となります。

9.5 支払失敗時

状態	MFO の扱い
支払失敗から 7 日以内	grace：警告を表示し、原則として契約プランの機能を継続
支払失敗が 7 日を超過	read_only：新規登録・DIPS 書き込み等を停止し、閲覧・出力中心に制限
unpaid 等	read_only または blocked：契約状態に応じて利用を制限

9.6 請求・支払情報の表示

- 現在プラン、契約状態、請求周期、次回更新日
- 支払方法および変更状態
- Stripe 請求書の発行状況・支払期限・確認導線
- MFO で管理する請求書・領収書 PDF がある場合の閲覧・ダウンロード
- MFO 運営管理者による例外設定・Enterprise 手動管理

10. データの取扱い

10.1 組織分離

MFO の主要データは organization_id 等の組織単位で分離し、通常ユーザーは自組織のデータのみを閲覧・操作できるよう制御します。

10.2 契約終了後

解約・契約終了後は、一定期間 read_only 等の制限状態でデータを閲覧・出力できる場合があります。保持期間終了後は、利用規約および運用方針に基づき閉鎖・削除対象となります。

10.3 外部連携データ

DIPS2.0、Stripe、地図・GIS、気象等の外部サービスから取得した情報は、サービス提供に必要な範囲で利用・保存します。外部サービス側の仕様・保持条件が適用される情報があります。

10.4 証跡・履歴

DIPS 送信履歴、訂正・無効化履歴、インシデント、承認・是正、監査履歴等は、運航記録・監査対応のために保持します。利用できる履歴の範囲はプランにより異なります。

11. 外部サービス連携と制約

外部サービス・データ	用途	主な制約
DIPS2.0	機体・許可承認・禁止空域・周辺計画取得、飛行計画通報	保守、障害、仕様変更、認証状態により一時利用不可となる場合があります。
Stripe	カード・Apple Pay・Google Pay 決済、銀行振込請求書、Customer Portal、契約状態連携	Stripe 側の障害・審査・支払処理・決済手段の条件に依存します。Apple Pay／Google Pay は端末・ブラウザ・カード発行会社等の条件により利用できない場合があります。
Open-Meteo / JMA MSM	標準の気象・上空風データ	予報データであり、現地観測・警報注意報に代わりません。
WNI 統合メッシュ API	提供環境により利用可能な気象データソース	契約・API 提供条件・環境設定に依存します。
地図・GIS データ	地図、DID、空港周辺、国土交通省告示第 435 号に基づく工業専用地域内の指定区域、地上ハザード等	データ更新時点、境界精度、外部 API 応答に依存します。
Google Workspace メール	登録確認、期限通知、各種通知	メール事業者・受信側設定により遅延・不達となる場合があります。

外部サービス障害時

MFO が正常稼働していても、外部サービスの障害・保守・仕様変更により一部機能が利用できない場合があります。重要な運航判断や法令確認は、必ず公的情報・現地情報等も併用してください。

12. 重要事項・用語

12.1 重要事項

- MFO はドローン運航管理・記録整備を支援するサービスであり、飛行の許可・承認、安全性、適法性を自動的に保証するものではありません。
- DIPS2.0 へ正常送信されたことと、当該飛行がすべての法令・施設ルール・自治体ルール等を満たすことは同義ではありません。

- 地図、DID、国土交通省告示第 435 号に基づく工業専用地域内の指定区域、禁止空域、地上ハザード、気象等の表示は参考情報を含みます。最終確認は利用者の責任で行ってください。
- 行政書士簡易相談はプラン特典の範囲内の相談です。個別具体的な許認可手続に関する相談、官公署提出書類の作成、申請手続の代理その他行政書士が受任して行う業務は、必要に応じて別途受任・見積の対象となります。
- 料金・支払条件・利用上限は、公開時点の仕様です。変更時は契約画面・サービス案内等で通知します。

12.2 主な用語

用語	意味
DIPS2.0	国土交通省のドローン情報基盤システム。MFO は一部 API 機能と連携します。
DIPS 成功書込み	DIPS2.0 が正常に受け付けた新規通報・訂正通報等の書込み処理。
管理対象	MFO で有効化され、新規飛行計画等に割り当て可能な機体・操縦者等。
read_only	新規登録・DIPS 書込み等を制限し、主として閲覧・出力のみ可能な状態。
grace	支払失敗等の後、一定期間は警告を表示しつつ利用を継続できる猶予状態。
Customer Portal	Stripe が提供する、支払方法・請求情報等を確認・管理する画面。
国土交通省告示第 435 号に基づく工業専用地域内の指定区域	航空法施行規則に基づき「人又は家屋の密集している地域」から除かれる区域として指定された、都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号の工業専用地域内の区域。当該区域では DID を理由とする飛行許可は不要ですが、他の空域・飛行方法に関する規制は別途確認が必要です。